

# MonthlyTimes (H27.12月)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★



## ☆「生きる会」開催しました

「有田中央高校を生き抜いてきた3年生から、今、戦っている1・2年生のみなさんへ」  
18日(金)の5、6限、昨年に引き続き、「生きる会」を体育館で開催しました。3年生は有田中央高校生としての想いを後輩に伝える機会を、1・2年生には「その先の未来に向けて」進級や卒業に対する意欲を高める機会とする目的で行われ、生徒が中心になり企画運営しました。中央に特設ステージを設け全校生徒が取り囲む中、会は進みました。ステージでは3年生8名が、それぞれの経験や体験について下級生に向け熱いメッセージを贈りました。

「かつて不登校だったが、高校入学を機に人と繋がることができ不登校を克服した。クラブ活動でがんばり、楽しく高校生活を送れた。」「昨年、大きな交通事故に遭遇し、生死をさまよったことで命の大切さを実感し、生きていることに感謝している。」「クラブ活動での先生や先輩との出会いによって前向きにがんばることができ、受験勉強も先生方に励まされ合格することができた。これからは自分の将来の大きな夢に挑戦したい。」など、それぞれが「生き方在り方」に向き合ってきたことの強さが感じられる発表でした。また3年間通してお世話になった先生方に、3年生から感謝の想いと花束が贈られました。

歌やライブ・ダンス・DJのパフォーマンスもあり、体育館は終始、熱気で溢れていました。この会が、今後の生徒一人一人の生き方にどうつながっていくか、楽しみです。



## ☆情報モラル講座開催

21日(月)の5限目、全校対象に体育館で、篠原嘉一氏(NTT情報技術推進ネットワーク代表)を講師としてお招きし、「情報モラル講座」を開催しました。

ネット、特に「ソーシャルサイト」に関わるトラブルや犯罪行為は若者の間で後を絶ちません。ネットに潜む危険を知り、情報のモラルを高めてもらおうというのが講座の趣旨です。お話の内容をより理解してもらうために、生徒には特別に携帯(スマホ)の持ち込みを許可しました。

篠原氏は様々な事例を紹介するなかでスマホやネットに対する正確な知識を身につけることが、危険から身を守ることに繋がると強調されました。

生徒は真剣に講師の方のお話に耳を傾けていました。今後には是非活かしてもらいたいと思います。



## ☆デートDV講座開催

22日(火)の5限目、全校対象に体育館で、橋本彰氏と堤利明氏(和歌山人権擁護委員)を講師としてお招きし、「デートDV講座」を開催しました。

「すごく、怖かったです。デートDVの意味を知れてよかったと思います。付き合う人はちゃんと選ぶようにしようと思いました。暴力や暴言をはいたり過度の独占欲はよくないと思いました。もし、被害にあったらちゃんと自分の意思を言えるようになります。」「やっぱりお付き合いする時は対等な関係でいることが大切だと思いました。そして、嫌だと思ふことはすぐに嫌ということ伝えて、どんどんエスカレートしていつか分らないので勇気を出して伝えたいです。」「デートDVは私たちの周りですごく起こるかわからないので、もしそのようなことがあったら、自分を大切に相手の事を尊重して解決していきたいです。相談されるようなことがあればちゃんと聞いてあげたいです。このような事件がなくなるように願っています。」「テレビだけの話だと思っていましたが、身近にあるんだということがわかりました。暴力だけでなくお金を要求したり暴言をはいたりすることもDVになることがわかりました。一人で抱え込まないで家族などに相談するとういと思いました。」「(生徒の感想から)



かりました。暴力だけでなくお金を要求したり暴言をはいたりすることもDVになることがわかりました。一人で抱え込まないで家族などに相談するとういと思いました。」「(生徒の感想から)

## ☆美術部の絵馬奉納される

25日(金) 地元藤並神社で美術部が制作した絵馬の奉納式が行われました。美術部員、顧問の坂本先生と校長先生も参列し、祝詞(のりと)が響き渡るなか、厳かに式は行われました。

絵馬の奉納は、地域への貢献という趣旨により、7年前から行っているものです。絵馬は干支を題材とし、今回は座っている申が生き生きと描かれています。

黒松 彩音さん(2年1組)、川口 遼平さん(2年2組)、山野 真愛さん(同)が中心となり、全員が協力し心をこめて描きました。一見おとなしそうな申ですが、「来年は着実に歩むのだ」という想いもこめられているようです。

式後、津田宮司から感謝の言葉をいただき、部員たちの顔に笑みが浮かびました。絵馬は、年明け早々から神社本殿に展示されます。見にいきましょう！



## 系列NEWS

## ☆農業系列「科学研究発表会」で特別賞に輝く



17日(木)和歌山県民文化会館で開催された「和歌山県高等学校生徒科学研究発表会」で、ポスターセッションを行い、『有田ミカンの糖・酸度による品種特性について』の研究が特別賞を獲得しました。この発表会は「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」指定高校を中心に、先進的な理数学習に取り組む高校生が日頃の研究成果を発表するものです。

その中で本校の発表は、「アイデアに満ちた科学的に意義深い研究」と多くの方々から評価をいただきました。生徒達はこのような発表会で受賞できるとは思っていなかったのですが、入賞がアナウンスされた時は信じられない思いでしたが、SSH指定校と共に表彰されたことで自分の研究に対して自信を深めたようです。

メンバー：大浦 暢也 君(3年2組)、池永 祐己 君(3年4組) 角田 裕哉 君(2年6組)